



全百
書科
教導
說

下
篇

ト 1
196
2止



門津1
196
2

東京
學校

藏書

百科全書

教導說下編

昭和
年
月
日

箕作麟祥

東京
大學
藏書

六歳ヨリ十四歳ニ至ル迄ノ心ノ教○児童ノ教
育ニ為ス方法ヲ論スルニ於テハ二歳ヨリ六歳
ニ至ル間ハ既ニ幼童學校ニ於テ教導ノ初歩ヲ
學ビテ者ト看做ス可ク而シテ幼童學校ニ於テ児
童教導ノ豫備ヲ為ス時ハ後ニ至リ大ニ師傅ノ
資助ヲ為ス可キカ故ニ幼童學校ノ益ハ宜ニク
力ヲ示シ之ヲ大ニ示シテ可シ

百科全書

下編

大正

百利全書 一 下 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

(原注) 英國ノ或地方ニ於テハ幼童學校ヲ無益ト為スハ説アリテ全ク之ヲ廢セシ者アリ想フニ其原由ハ其學校ノ教師幼童學校ニ於ケル真ノ目的ヲ忘レ徒ラニ嚴重ノ規則ヲ設ケテ科目ヲ定メ高尚ノ學科ヲ教ユルガ故ニ幼童ヲシテ道理ヲ辨シ起原ヲ推ス能力ヲ發セシムルノ早キニ過クル害アルニ因ル所ナリ故ニ各地ニ於テモ中等以上資産ヲ有スル家ノ幼童ハ此學校ニ出ル者稀ナリト雖工丁傭人ノ如キハ其父母毎日家ニ在ルヲナク

又總テ貧困ノ輩ハ其家屋狹小ニシテ健康ヲ害スルガ故ニ日々其幼童ヲ遊バシメ且學バシムル為メ此學校ノ必要ナル今ニ於テ依然敢テ變ズルヲナシ而シテ我輩ノ説ニ於テ幼童學校ノ方法ニ宜シク注意ヲ加フベキ其旨趣ハ第一ハ幼童ヲシテ清潔自制親愛節度等總テ道ノ教ヲ主トスル習慣ヲ得セシメ第二ハ兒童ノ其五官ノ感覺又ハ事物ニ留意スル能力ヲ啓キ宇宙間ノ萬物ヲ見聞シテ心ニ記憶スルヲ教ヘ以テ其智心ヲ開發セシメ第三

ハ幼童ニ其見聞スル諸物ニ就キ心ニ生ズル
 思慮ノ所由ヲ言語ヲ以テ師傅ニ通ズルニ誤
 謬ナカラシメ且其音色ヲ正クシテ明亮ニ發
 言セシメ以テ言語ノ能力ヲ啓カシメ此三事
 ノ外敢テ他ノ高尚微妙ノ教ヲ施サ、ルニ在
 リ故ニ概シテ之ヲ言フ時ハ幼童學校ノ旨趣
 ハ幼童ノ遊戯ニ少シク節制ヲ立テ其五官ニ
 觸ル、所ヲ專ラ教ユルニ過キズシテ然ル時
 ハ富豪ノ兒ハ知ラズ凡ソ全國ノ幼童皆此學
 校ノ益ヲ受ケザル者ナカル可シ

抑、兒童ハ六歳ヨリ十四歳ニ至ルノ間、訓蒙學校
 ニ於テ教導ヲ受ク可キ時ナルガ故ニ此間ハ道
 ノ教ヲ以テ善ク其身ヲ脩ムルヲ教ヘ且智心ヲ
 啓キ之ヲ活動スルノ習慣ヲ得セシメテ生業ノ
 為ニ必要ナル科目ヲ學バシム可シ
 茲ニ一疑問アリ曰ク六歳ヨリ十四歳ニ至ル兒
 童ハ之ニ何等ノ科目ヲ教ユ可キヤ又其教訓ノ
 方法ハ如何ナル可キヤト因テ今余次ヲ逐ヒ之
 一答ヘントス曰ク先ツ第一ハ國語ノ讀方、其文
 法其字義及ビ文章ヲ作ル方法ヲ教ユルコト最緊

要ノ者ニテ又其國語ヲ教ユル方法ニ三種アリ即チ第一ハ兒童ヲシテ或ハ辭語ノ意如何ヲ了解セシメ或ハ其辭語ヲ活用セシムルニ注意セズ唯專ラ之ヲ復誦セシムル旧法ヲ云ヒ又第二ハ解明ノ法ト稱スル者ニシテ兒童ヲシテ辭語ノ意ヲ解明セシムル為メ之ト同意ノ辭語ヲ用ヒ以テ其意ヲ答辨セシムル法ヲ云ヒ此法ハ方今各國ノ小學校ニ於テ多ク行ハル所ナリ又第三ハ顯示ノ法ト名ケ兒童ニ課業ヲ教ユル毎ニ現ニ實物ヲ示シ又ハ粉板等ニ其物件ヲ画

キ以テ實際ニ當リ資益ヲ生ゼシムル法ヲ云フ而シ今此三法中ニ就キ考慮スルニ凡ソ兒童ハ實物ヲ指示セザル教ハ之ヲ了解スル常ニ難ク自カラ實物上ニ就キ解シ得シト欲スル者ナレバ思フニ彼顯示ノ法ハ之ヲ兒童ノ為メ最大ノ資益アル者ト為ス可シ
兒童ニ國語ヲ教ユルニ於テ先ツ其初メハ一語ノ始ト終トニアル單獨ノ子音及ビ連合ノ子音ヲ教ヘ又單獨ノ母音ヲ教ヘ然ル後ニ連合ノ母音アル語ニ進ム可ク其他此類ノ教導ハ(三)(四)(五)

ノ書ニ就テ之ヲ看ル可シ又児童ニ實際ノ益ヲ授ク可キ課ハ歡娛ヲ得セシムル文章又ハ粉板ニ画キ或ハ實物ヲ示シ以テ明瞭ナラシムルヲ得可キ文章ヲ用フ可キナリ

(第一)物名ハ現ニ其物ヲ示シ若クハ其画図ヲ示シ且児童ヲシテ其物ニ就キ知得スル所ヲ述ベシム可ク然ル時ハ最モ善ク其心ニ了解セシムルヲ得可シ蓋シ之ガ為メニハ師傳ノ其物名ヲ説クヨリモ寧口児童ヲシテ自カラ簡易單純ノ釋義ヲ為サシムルヲ良トス

(第二)性質形容ノ名ハ児童ヲシテ其性質又ハ形容ノ備ハリタル物件ヲ指シ言ハシムルヲ以テ之ヲ教ユ可シ譬ハ深キト云ヘル形容ヲ児童ニ示サント欲スルニハ師傳先ヅ児童ニ問フニ深キ物ヲ我ニ告ケヨト云ト然ル後ニ児童ヲシテ海井坑溝等ト答ヘシムルガ如シ

(第三)所為ノ名ハ師傳自カラ現ニ其所為ヲ行ヒ又ハ珍奇ノ談話ニ因リ其所為ヲ辨明シ以テ其語ノ意味ヲ實際ニ解セシム可シ
児童ニ專ラ讀法ヲ教フルノ餘ニ傍ラ又各語ノ

種類ヲ教ヘ以テ文法ヲ解セシム可ク而ノ之ヲ
名ケ傍教ノ法ト云フ蓋シ此法ニ依レバ児童ニ
主トシテ物件ト其形容性質トヲ教ヘ以テ其名
ヲ言ハシメ且之ヲ書セシムルニ附添シテ其解
明ノ為メノ文詞ヲ讀ミ且其各語ノ種類ヲ知ラ
シムルガ故ニ此等ノ教互ニ相妨害スルヲナク
各相助ケテ資益ヲ為ス可シ
簡易ノ讀法程課幼童既ニ前ニ記スル教ヲ受ケ
タル後ハ讀字綴字ノ法ニ於テ更ニ進ミシ教ヲ
授ケ且其智心ノ教ニ於テ更ニ規則ニ適セシ者

ヲ用フ可ク而メ又児童ノ心ヲ樂マシメ之ヲシ
テ自カラ其歡娛ヲ得可キ為メ好ニテ讀書ヲ欲
スルノ念ヲ生ゼシムルヲ目的トス可キガ故ニ
児童ニ授クル程課ハ其歡娛ヲ得セシム可キ談
話ノ類ヲ以テシ且專ラ児童ノ感覺ヲ啓キ宇宙
間ニ在ル美妙ノ諸物ヲ愛スルノ意ヲ生ゼシム
可キ者タル可シ
往時ハ學校ニ於テ無益ノ讀法及ビ綴字ノ法ヲ
教ヘシガ近歲ハ全ク其法ヲ廢シ方今ハ英語教
導ノ為メ專ラ用フル所ノ法左ノ如シ

(第一) 讀字ヲ正ウシ、一語ヲ分チ、綴字ヲ為ス事
 但シ綴字ヲ為ストハ綴字シタル各語ヲ盡ク
 記憶スルガ如ク徒ラニ時間ヲ費シ以テ全ク
 無益ニ属スル事ヲ為サシムルニ非ズ各文字
 ノ聲音ヲ答ヘシメ、其文字ヲ合シテ切音ヲ為
 スヲ示シ、數箇ノ切音ヲ合シテ一語ヲ為スヲ
 教ユル等、如ク以テ所謂國語ヲ讀ムノ法ヲ
 教ユ可ク又文字ノ適宜ノ數ヲ適宜ノ順序ニ
 集合シテ之ヲ紙上ニ書シ一ノ切音ヲ為ス可
 キ語ヲ作ラシメ以テ所謂國語ヲ書クノ法ヲ

教ユ可シ又綴字ハ讀字、書取、摸寫、作文、正文、文
 法ノ教訓等ヲ以テ自カラ之ヲ學フヲ得可
 シ
 (第二) 讀タル諸事ヲ了解スル事但シ之ガ為メ
 ニハ兒童ヲシテ其讀タル所ヲ心中ニ熟考セ
 シメ傍ラ實物又ハ其画圖ヲ示シ以テ之ヲ助
 ク可シ又然テ兒童ニ了解セシメントスル所
 ハ其解シ易キ事ノニ限ル可ク且其智心ノ
 能力ヲ啓ク可キ者タル可シ又師傅ハ常ニ石
 粉ヲ以テ粉板ニ其教ユル諸物ヲ画キ以テ之

ヲ示ス可ク斯ク師傳ヲシテ其教ヲ施スニ當
 リ現ニ其物ノ略図ヲ掲ゲ以テ之ヲ示サシム
 ルハ蓋シ其児童ノ心ヲ感ゼシムルノ後ニ精
 巧微妙ノ画図ヲ示スヨリ其益更ニ多キガ故
 ナリ今余ガ此ニ論説スル所ノ諸事ハ宜シク
 (六)ノ書ニ就テ之ヲ省ルベシ
 幼童ハ第一ニ平常見聞スル諸物ト生活ニ管
 シタル諸件トヲ知ラント欲スル者ナレハ明
 瞭詳細ニ之ヲ教示スルノ最モ緊要ナリトス
 故ニ児童教諭ノ道ヲ知リタル父母ハ第一兒

童ニ此等ノ諸事ヲ教ユルヲ以テ主要ト為ス
 小雖^レ惜哉^レ児童ノ教育ス可キ務アル者懇切
 ニ此等ノ事ヲ教ユルノ餘暇ナク又其餘暇ヲ
 リト雖^レ或ハ其能ナク或ハ其煩勞ヲ厭ヒ終
 ニ児童ヲシテ此大益ヲ得ルヲ能ハザラシム
 ルニ至ル
 児童ニ授ク可キ教課ハ概スルニ百物諸事ノ
 外ニ見ハル者ヲ辨明スルニ限ル可シ内部
 ハ児童ノ為メ解シ故ニ上帝ノ及ヒ上帝諸
 難キヲ以テナリ故ニ上帝ノ及ヒ上帝諸
 物ヲ創造シタルヲ鳥獸艸木ノ人種ノ邦

國ノ一農業ノ一平生用フル諸器具ノ一通常ノ藝業ノ一等ヲ擇ミ以テ之ヲ教ユ可ク(七)而ノ之ヲ概論スル時ハ身体ヲ壯康ニ為シ且生涯ヲ成就スルニ實地有益ナル通常ノ諸件ヲ教ユルニ在リ(八)

訓蒙ノ教導ヲ為スニ於テ兒童既ニ讀字ノ法ヲ學ビタル後大抵七歳ノ兒童ト十歳ヨリ十四歳ニ至ル迄ノ兒童トハ其景状大ニ相異ナルガ故ニ其教導ノ方法モ亦異ナラザルヲ得ズ即チ其一ハ所謂預備ノ法又一ハ更ニ進歩セシ法ニシ

テ蓋シ父兄ノ貧困ナル者ハ其兒童大抵十歳ニ至ルノ日皆之ヲ學校ヨリ退カシムルノ習慣アルガ故ニ顧ミルニ預備ノ教導法ヲ用ルノ特ニ緊要ナリトス故ニ余嘗テ學校所用ノ教導書冊ヲ編成スルニ當リ專ラ此事ニ注意シ彼進歩ヤシ教導書中ニ記載ス可キ程課ノ大略ヲ預備ノ教導書中ニ記ヤリ因テ今左ニ其大綱ヲ掲ケン

トス
預備ノ教導書

地理初歩(兒童ハ嘗テ幼童學校ニ在テ地理ノ極

メテ簡易ナル略説ヲ學ビ得シガ故ニ七八歳ノ
 齡ニ至テハ更ニ規則ヲ定メ地理ノ學科ヲ學バ
 シム可ク而メ其教ユル所ハ此學科教授ノ為メ
 許多ノ時間ヲ費スノ暇ナキ者ニ適シ且成長ノ
 後或ハ工丁傭夫タル可キ者ニモ亦有益ナルニ
 注意ス可シ故ニ兒童ヲ教ユルニハ必ズ地圖ヲ
 以テス可ク地名、岬名、灣名、府名等ヲ教ユルヲ多
 キニ過ク可カラズ又地ノ圓形及ビ大洲ノ位置
 並ニ經緯度等ヲ了解セシムル為メ地球儀ノ用
 法ヲ教ユ可ク又一時ニ大小ノ地圖ヲ以テ教ユ

ル時ハ兒童邦國ノ大ヲ誤ルノ害アルガ故ニ力
 メテ一定ノ圖ヲ用フ可シ又總テ邦國ノ相對ス
 ル位置ハ地圖ニ就キ之ヲ學バシムルノ最良タ
 ルガ故ニ程課中ニハ之ヲ説クヲ其詳カナルヲ
 要ヤズ專ラ各國ノ地勢ト政状トヲ教ユ可ク而
 メ之ガ為メニハ先ツ各地方ノ人種、草木、鳥獸ノ
 類ヲ學ビ知ラシメ且各國ニ固有ナル緊要ノ諸
 事ヲ學ビ知ラシムルニ在テ傍ラ地球儀及ビ地
 圖ニ就キ懇ニ之ヲ指示スル時ハ地理ヲ學ブニ
 於テ大ニ其資益ヲ生ズ可キナリ三十ヨリ三十

八二至ル) 習字(習字ノ法ハ初メハ巧ナル教師ノ教ヲ受ケ
 シメ以テ座ニ就クノ方法、筆ヲ執ルノ方法ヨリ
 文字ヲ書スルノ法ヲ學ビ知ラシメ次ニ相當ノ
 手本ニ就テ之ヲ學バシム可シ(四十二、四十三)但
 シ習字ノ為メハ塗板又ハ沙板ノ上ニ自由ニ
 大字ヲ書キシムルヲ以テ益アル者トス
 (算術初步)兒童ハ既ニ幼童學校ニ於テ算盤ヲ以
 テ算術ノ大旨ヲ學ビシ者ト者做シ而メ更ニ適
 宜ノ書ニ定メタル規則ニ従ヒ石板ニ數字ヲ書

セシメ以テ之ヲ教ユ可シ又數字ヲ用ク
 ク其心中ニ算數ヲ解スルヲ教ユル時ハ兒童ヲ
 シテ心計ヲ善ナラシムルノ良法ナリト云フ(四十二
 六) 作文(初步)兒童ハ極メテ幼年ノ時ヨリ作文ノ法
 ヲ學バシム可シ雖モ文法ノ規則ハ解シ難ク
 且其歡娛ニ充ツ可キ者ニ非ザルガ故ニ最初ヨ
 リ之ヲ教ユ可カラズ先ヅ兒童ヲシテ初メテ名
 辭ヲ考ヘ以テ之ヲ書カシメ次ニ其形容ノ辭ヲ
 書カシメ又次ニ其作用又ハ愛場ヲ説ク可キ動

辭ヲ書カシム可シ夫レ幼童ト雖其初メ既ニ
 談話ヲ為スヲ得ル時ハ其言ヲ所固ト自カラ文
 ヲ為スニ至ルガ故ニ頓ニ規則ヲ以テ之ヲ抑制
 セズ其意ニ随ヒ以テ言語ヲ述ベシメ師傳タル
 者其傍ヨリ其錯誤ヲ改正ス可シ然ル時ハ漸ニ
 作文ノ法ヲ知ルニ至ル可ク且煩擾ノ文法ヲ以
 テ一時ニ作文ヲ教ント之ヲ強フルヨリ其益更
 ニ多カル可シ又作文ヲ教ユルニハ左ノ諸件ニ
 注意セザルヲ得ザルガ故ニ今次ニ之ヲ掲ク
 (第一) 兒童作文ヲ始ムル前ニハ數週間古人

ノ簡短ナル名文ヲ寫ス可シ然ル時ハ句點頭
 字等ヲ用フルニ詳明ナルヲ得テ後ニ作文ノ
 為有益ナル可シ
 (第二) 各兒童ニ習字ノ下書ニ用フ可キ通常
 ノ紙ヲ十分ニ與ヘ且寫字檯古本ト抄寫ヲ為
 ス原本トヲ與ヘ置ク可シ
 (第三) 教師ハ卓上又ハ寫字臺上ニ十五箇乃
 至二十箇ノ物品ヲ置キ其席ニ在ル諸兒童ニ
 之ヲ示シテ其名ヲ言ヒ各兒時時之ヲ書取
 ラシメ斯クノ如クシテ數次其教ヲ授ク可シ

第四 児童其數箇ノ物品ノ名稱ヲ全ク書シ終リタル後之ヲ互ニ其相隣坐スル者ノ書シタル語ノ綴字等ノ誤ヲ刪正セシム可シ

第五 児童互ニ此事ヲ為シ終リタル後各其書記セシ紙ヲ書者ニ還シ以テ其訂正ヲ檢視セシメ若シ其訂正ニ却テ誤ナリト思フ所ハ之ヲ討論セシム可シ

第六 然ル後教師ハ其席ヲ廻リ以テ児童ノ互ニ討論スル箇條ヲ決シ其決定ノ所以ヲ説テ更ニ児童ニ問ヒ又児童ヲシテ自由ニ問フ

起サシム可シ

第七 児童ハ各其下書ヲ家ニ携ヘ飯リ之ヲ習字本ニ浄書シテ日附ヲ記シ以テ翌日教師ニ出ス可シ

第八 教師ハ其浄書ヲ見テ誤アル時ハ自カ之ヲ改正シ其改正ノ所以ヲ児童ニ問フ可シ

第九 然ル後教師ハ巧拙ノ順序ニ從ヒ其番號ヲ自カラ浄書本ニ記シ以テ各其書者ニ還ス可シ

(第十) 各程課ノ終ル毎ニ教師ヨリ児童ノ書
 セシ各語ノ種類及ビ其意味ヲ児童ニ問ヒ且
 幾許ノ事ヲ知り得タルヤヲ児童ニ問フ可シ
 (第十一) 児童ハ書取ヲ為スニハ黑色ノ墨ヲ
 用ヒ互ニ訂正ヲ為スニハ赤色ノ墨ヲ用フ可
 ク而シテ教師ノ改正教訓順序ノ番號等ハ藍色
 ノ墨ヲ用フ可シ但シ此等ノ事ハ瑣末ニ屬ス
 ルガ如シト雖モ實地ニ於テ有益ナル者トス
 (第十二) 教師ハ其時ノ景状ニ從ヒ一週間ニ
 三四次程課ヲ授ク可シ但シ各程課毎ニ書取

ヲ為サシムル間ハ半時ニ滿タズシテ足レリ
 トス又訂正ヲ為ス間モ殆ト之ニ齊シカル可
 シ
 (十三) 總テ此程課ハ物品ヨリ次第ニ其性質及ビ作用
 ニ及ボシテ各児童ノ知識ヲ廣ム可ク又此程
 課ニ添ヘ傍ラ言語ノ起源ヲ教ユルヲ有益ナリ
 トス
 (十四) 諸學術初步前ニ児童ニ教ユル所ハ諸物ノ外部
 ト其通常ノ用法トニ限リシ者ト雖モ九歳若シ
 クハ十歳ノ齡ニ至ルニ及テハ次第ニ宇宙萬物

ノ整齊シタル模様及ビ其各部類ヨリ之ヲ統制
 スル大法則ニ至ル諸件即チ格物窮理ノ大畧ヲ學ハシム
 ム可シ即チ其各件ヲ掲載スル時ハ宇宙萬物ノ
 無涯無數ナルヲ、日月星辰太陽經地球月蝕萬物
 ノ引力及ビ動行地ノ表面ノ景狀其造方土質大
 氣温光電氣磁氣蒸發雲雨氷雪霜風物ノ元素其
 結合草木鳥獸人ノ性質歴史身体心神等ニ在リ

(六十三)

音樂初歩(兒童同上ノ年齡ニ至テハ音樂ノ大旨
 ト其規則トヲ學バシム可ク而シテ既ニ幼童學校

ノ部中ニ記ヤシ所ハ唯幼童ニ教ユ可キ程課ヲ
 以テ歌ニ作り之ヲ唱ヘシムルニ在リト雖モ今
 音樂ノ初歩ヲ教ユルニ當テハ兒童ヲシテ唯音
 樂ノ規則ヲ學バシムルノミヲ以テ足レリトヤ
 不不宜シク符ニ就キ以テ歌ヲ可キノ法ヲ學バシ
 ム可シ蓋シ歐洲大陸ノ諸國ニ於テハ從前ヨリ
 嘗テ此法ヲ用ヒシガ近來英國ニ於テモ亦頗ル
 此事ニ注意スルニ至レリ(八十二)

進歩シタル教導書

地理(兒童地理ノ初歩ヲ學ビ得タル後ハ更ニ詳

細之ヲ學バシム可シ(三十一ヨリ三十四ニ至ル)故ニ今英國ヲ初トシテ第一ニ地ノ位置、廣袤、區分等ヲ教エ次ニ地面ノ模様、風土、草木、鳥獸、鑛石、天然ノ珍奇等總テ地形ニ管スル者ヲ教エ次ニ古蹟、旧物等總テ歷史上ニ管スル者ヲ教エ次ニ政体、歲入、海陸兩軍、法教等總テ政治上ニ管スル者ヲ教エ次ニ人民ノ性質、言語、文學、藝術、製造、貿易等總テ人民ノ交際上ニ管スル者ヲ教エ可シ蓋シ斯ノ如ク一國ノ地理ヲ學バシムルニハ常ニ地圖ト相照シ教ユルノ必用ナルガ故ニ

適宜ノ大ニシテ明カニ地勢ヲ示シ得可キ地圖(三十五)ヲ用フ可ク然ル時ハ兒童數人ヲ一時ニ教ユルヲ得可シ(算術及ビ文法)此ニ科モ亦前ニ比スレバ更ニ詳明ニ學バシム可ク且算術(四十七)ニ添テ主簿學(四十九)ヨリ五十二ニ至ルヲ教エ文法(十二)ニ添テ語源學及ビ作文學ヲ教ユ可シ蓋シ此等ノ諸科ハ畢生ノ為メ緊要ノ者タレバ宜シク審カニ之ヲ教ユベシ(画學)画學ノ缺ク可カラザルヲ習字ニ比スレバ

稍次クト雖亦不問ニ置ク可キ者ニ非ズシテ
其法ノ大略ノミヲ知ルモ必ズ終身ノ大益ヲ為
ス可ク而ノ先ヅ画學ヲ教ユルニハ其初メ灰筆
ヲ以テ塗板ニ曲直ノ線ヲ引カシメ然ル後次第
ニ牆、塼、壁、門、路標、家、橋、器具類、鳥獸等通常ノ物体
ノ形ヲ画カシム可シ又塗板ヲ以テ教ユル時ハ
灰筆、規筆、界尺等ヲ用ヒシム可シト雖石版ヲ
以テ教ユル時ハ專ラ兒童ノ眼手ヲ用フルニ慣
レシム可ク且總テ深色ノ線ヲ以テ画ノ前地ト
為シ薄色ノ線ヲ以テ画ノ後地ト為ス可シ蓋シ

斯クノ如ク廣ク通常ノ諸物ヲ画カシムル時ハ
頓ニ兒童ノ画才ヲ知り得可ク又画才ナキ兒童
ト雖モ画學ノ大略ヲ學ブニ因リ必ズ許多ノ益
ヲ得可シ
兒童ハ先ヅ画學ノ初步ヲ學バシメタル後次第
ニ画學ノ道理ヲ學バシメ且遠景画學及ビ真形
画學實物ヲ見テ直ニ其
形ヲ画ク法ヲ云フヲ學ハシム可シ蓋シ此
等ノ事ヲ學バシムルニハ必ズ遠景画學ノ術語
ヲ學バシメ幾何學ノ図ニ等シキ画図ヲ引カシ
ム可ク而ノ教師ハ先ヅ兒童ニ教ユルニ石筆ヲ

以テ画クノ法、陰影、照影ヲ分チ色ヲ施スノ法、景色又ハ物品ノ形ヲ真物ニ就キ画クノ法及ビ總テ遠近ヲ定ムルノ法ヲ以テシ然ル後ニ兒童ヲシテ其法ニ從ヒ各般ノ図ヲ画カシム可シ。今茲ニ一ノ注意ス可キ事アリ蓋シ人ニ才ト不才トアルハ固ト其常ナルガ故ニ如何ナル學科タルヲ論ゼズ總テ教師ハ兒童ノ才ト不才トニ應ジ以テ相適スル業ヲ授クルニ在リ故ニ画學ニ於テモ亦教師ハ兒童ニ其才アリト鑒定スル時ハカヲ盡クシテ此學ヲ教エ若シ其才ナシト思

料スル時ハ此學ノ初步ノミヲ教エ以テ其業ヲ止メシム可シ又器械學及ビ建築學ヲ教ユルニハ之ニ添テ傍ラ此等ノ學科ニ管シタル画図ヲ教ユルヲ良トス(二十一ヨリ二十九ニ至ル) 格物窮理學(兒童十一二歳ノ齡ニ至ルニ及ンデハ格物窮理ノ學科ヲ學バシム可シ是レ何人ニ限ラズ物ト動トノ法則即チ物ノ礙竄性、填充性、定形性、分解性、習慣性等ノ事及ビ天体地球又ハ其他諸物ノ引力、磁氣、電氣ノ引力、化學上ノ引力、分子ノ固着力、放發物ノ動力、垂球ノ動力、遠心力

等総テ引カ動行ノ事並ニ温熱ノ法則ヲ知ラザル可カラザルニ因ル所ナリ(六十四)

(器械學)兒童ハ前ニ記シタル諸學科ヲ學バシメタル後器械ノ力及ビ其理ヲ學バシメ以テ數箇ノ器械カヲ合シタル力、摩擦力、人力、馬力、風力、水力、蒸氣力、及ビ諸器械ノ教ヲ授ク可シ(六十五)

(靜水學、動水學、氣學)兒童固形物ノ動力ノ法ヲ知リタル後ハ流動物及ビ氣蒸物ノ法ヲ學バシム可シ即チ靜水學ハ水ノ壓力、平面、各種重力等ヲ論ジ又動水學ハ水樋、噴泉、流動物ト固形物トノ

摩擦力、河水ニ於ケル水ノ動力、波浪等ノ諸事ヲ説キ又氣學ハ大氣ノ総論、大氣ノ壓力、排氣鐘、晴雨儀、噴水機、膏形水管、蒸氣、風、海陸微風、通風等ヨリ輕氣球、泳氣鐘等ニ至ル迄ノ諸事ヲ解明ス(六十六)

(光學、音學、星學、電氣學、空中顯象學)此諸學科ヲ以テ格物窮理ノ學ヲ全フスル者トス(六十七ヨリ七十一ニ至ル)

(化學)兒童ニ宇宙萬物ニ管スル一般ノ法則ヲ學バシメタル後ハ自カラ其萬物ヲ造成スル元素

ノ質ヲ學フニ至ラシム可_レ也_ニ我が着ス所_レ七
 十二ノ化學書ハ兒童一般ノ教授ノ為_レ必要ナ
 ル諸件ヲ大約網羅セシ者ナレバ教師若シ其全
 部ヲ兒童ニ教ユルヲ欲セザル時ハ其書中ニ就
 キ通常日用ノ諸事ヲ解明スルニ缺ク可カラザ
 ル部分ヲ擇ム可シ蓋シ化學ノ教ハ総テ試験ヲ
 以テ之ヲ解明シ且其實物ヲ示ス可ク殊ニ若シ
 兒童ヲシテ手ニ其物ヲ取ラシメ以テ檢視セシ
 ムルヲ得可キニ於テハ親シク之ヲ為サシム可
 キ故ニ化學ニ管スル數箇ノ器具ト許多ノ物

品ト_レ完具シ置ク_レ必要トス而_レ又兒童若シ
 化學ヲ以テ己レノ職業ト為ス_レ欲スル時ハ各
 自ニ試験ヲ為サシム可シト雖_レ尋常一般ノ教
 導ニ於テハ兒童數人ヲ聚メ教師其試験ヲ為シ
 以テ之ヲ示ス_レニシテ足レリトス
 人身窮理_レ兒童ニ人身窮理ヲ教ユル所以ハ兒童
 其健康ヲ害セシ時之ヲシテ自カラ其病ヲ療セ
 シムルノ道ヲ教ユルガ為_レニ非ズ未_レタ其健康
 ヲ害セザルニ先_レテ預メ其身ヲ保全セシムルヲ
 教ユルガ為_レメナリ夫_レ人_レ者ハ自カラ其病

ヲ治スルノ法ヲ知ラズト雖自カラ其身体ヲ
害スルヲ勿ル可シトノ論言ハ實ニ格言ト謂フ
可クシテ既ニ兒童ニ人身窮理ノ學ヲ教ユシヨ
リ實際ニ就キ其大益アルハ瞭如タル所ナリ故
ニ男女ヲ問ハズ九歳ヨリ十二歳ニ至ルノ兒童
ハ之ヲシテ人身窮理ノ學ニ深ク注意セシム可
キ為メ因テ以テ此學科ヲ教ユ可シ(七十五及ビ
七十九)
心理學)方今ハ心理學ノ教ヲ外ニスルノ習風ア
リト雖其蓋シ人ノ事ニ於ケル思フテ而シテ後ニ

之ヲ行フノ能力ヲ知ルハ固ト人タル者ノ缺ク
可カラザル所ニシテ殊ニ人ノ魂魄永ク來世ニ
移ルノ理ヲ説クハ是レ實ニ緊要大益ノ者タリ
故ニ此學科ハ決シテ拋棄ス可キニ非スト雖
方今學校ニ於テ未ダ兒童ニ心理ノ學ヲ教ユ可
キ適宜ノ書アラザルガ故ニ教師タル者宜シク
注意ヲ加ヘ言詞ヲ以テ其大略ヲ説クヲ勉ムベ
シ
數學)兒童訓蒙ノ教導ヲ為スニ於テハ又數學ヲ
以テ必須ノ一科トシ且今況ク此科ヲ論スル時

百科全書 下篇 廿二 文部省

ハ蓋シ數ト大トノ別ヲ問ハス凡ソ百般ノ度量
 シ得可キ諸件ヲ舉ケ総括セシ者ニシテ先ヅ此
 科中ノ第一ヲ算術トシ次ヲ代數學トス(五十三
 ヲリ五十六ニ至ル)而ノ代數學ノ道理ヲ辨ゼザ
 ル時ハ算術ノ法ニ於テ間之ヲ解スル能ハザル
 事アリ又幾何學ハ數學ノ一部ニシテ論說上及
 ビ實際上ニ就キ專ラ物ノ大^ナ及ビ其形ヲ量ルヲ
 主眼トシ而ノ平面ヲ測ル學科ヲ平面幾何學ト
 シ(五十七)立形ヲ測ル學科ヲ立形幾何學トシ球
 形ヲ測ル學科ヲ球形幾何學トシ(五十九)此等ノ

學科ヲ以テ教ヘタル論理ニ基キ實際ニ涉リテ
 各種ノ形体ヲ測量スル學科ヲ名ケ以テ實際數
 學ト云フ(六十)
 (能辨學)此學科ハ最初ヨリ傍ラ兒童ニ教ユ可キ
 者タルガ故ニ學校ニ於テ教導ヲ為スノ間兒童
 ノ或ハ讀ミ或ハ語ルノ何事タルヲ問ハズ常ニ
 其發音ヲ明亮ニシ且謬誤ナク以テ人ニ解シ易
 カラシムルヲ教ユ可ク而メ之ガ為メニハ兒童
 若シ辭語文章ノ音ヲ誤リ發スル時教師ノ之ヲ
 正スヲ良トス蓋シ斯クノ如ク兒童ヲシテ其緊

要ナル能辨學ノ大綱目ヲ學ビ得セシメタル後
 ハ特ニ之ヲ專務中ノ一ト為シ以テ此科ヲ教ユ
 ル為メ成句、和音、變音等ノ事ヲ知ラシメ且能辨
 ノ理ヲ解明シタル文章ヲ現ニ讀マシメ其發音
 フ正ス可シ(十四)

史學) 歴史及ビ高名ナル人ノ傳記ハ殊ニ重要ノ
 學科ナルガ故ニ兒童初教ノ學校ニ於テ其大略
 フ學バシメザルヲ得ズ蓋シ本國ノ史記及ビ其
 文學、英俊、識者等ノ史傳ハ就中之ヲ最必要ノ者
 トシ次ニ地勢又交際等ノ模様ニ從ヒ本國ニ對

シ最モ關係アル諸國ノ史記ヲ必要ノ者トス
 三十九ヨリ四十五ニ至ル)

博物學) 兒童大抵十三歳以上ノ齡ニ至ル時ハ博
 物學ニ從事セシム可ク而シテ既ニ預メ窮理學及
 ビ化學ノ理ヲ知ルガ故ニ博物學ノ教ヲ解スル
 ハ更ニ容易ニシテ且其資益ヲ得ルハ更ニ多
 ル可シ蓋シ兒童此學ニ從事スル時ハ動物、植物、
 礦物ノ三者ヲ差別シ(七十六) 大氣及ビ其顯象(七
 十一) 風、海、潮、海中ノ流等ノ諸事ヲ解シテ且地成
 ノ理ニ管スル諸發明(七十八) 動物ノ種類(七十四)

植物ノ種類(七十六)等ニ至ル迄之ヲ知ルヲ得
 可シ
 經濟學兒童既ニ十四歳ニ至リ是迄授ケタル教
 導ニ因リ其知識畧具備シタル時ハ經濟學ノ大
 略ヲ學バシム可シ蓋シ經濟ノ道ヲ知ラズ僻説
 ヲ固守スル者ノ多キハ國家ノ大害ト謂フ可シ
 (七十七)
 明理學明理學トハ正シク理ヲ立ツルノ學即チ
 知ル所ヨリ知ラザル所ニ及ボシ以テ正シク其
 理ヲ定ムルノ學ニシテ若シ此道ヲ解セザル時

ハ其事ニ處ヌル必ズ粗漏輕果ノ決ヲ為シ以テ
 後悔ヲ致スヲ免カレザルガ故ニ凡ソ人ノ常ニ
 誤謬惑迷シテ失策錯計ヲ為スニ至ル者其原皆
 明理ノ學ニ從事セザルニ因ル故ニ人ハ兒童ノ
 時ヨリ此學ニ勉勵シテ自カラ道理ヲ立ルニ迷
 誤ナク且他人ノ論述スル道理ニ就キ其虚謬ヲ
 知ルノ緊要至重ナル毫モ疑ヲ容ル可キニ非ス
 蓋シ英國ニ於テハ大學校ヲ除クノ外諸ノ學校
 ニ於テ特ニ明理ノ學ヲ教ユルノ設ケ未ダアラ
 スト雖凡ソ學校ノ師範タル者ハ其子弟ニ幼

年ノ際ヨリ此道ヲ學バシムルニ着目ス可ク實ニ此明理ノ道ヲ畧解スル時ハ數箇ノ學科ニ長セシヨリ其裨益ヲ得ルハ大ナルト更ニ貴ムニ足ル可ク而シテ其正シク思念シテ正シク道理ヲ立ツルノ能力ト其習慣トヲ得セシメント欲スルハ各種教導ノ大着目タル可シ故ニ如何ナル學科ヲ問ハズ其學科ヲ教ユルニ於テ此方法ノ彼方法ニ勝レルト否トハ全ク此明理ノ道ヲ解セシムルノ難易ニ因ル所ナリ而シテ又兒童ハ其各學科ヲ學フニ當リ能ク自カラ其學科ノ理ヲ

曉知シ以テ己レノ決定スル基本ノ何者タルニ注意ス可ク又教師ハ兒童ノ誤解ヲ視テ唯其誤解タルヲ告ゲ示ス可キノミニ非ズ必ス兒童ヲシテ自カラ其誤解タル所以ヲ了知セシム可ク然ル時ハ是レ真ニ明理ノ道ニ適シタル教導法ト謂フ可キナリ蓋シ小學校ニ於テ兒童ヲ教ユルニハ算術及ビ文法ノ二科ヲ以テ此高尚ナル明理ノ道ノ端緒トス可ク殊ニ算術ノ如キハ之ヲ教ユルノ法其宜シキヲ得ル時ハ實ニ之ヲ民庶ノ明理學ト名クルモ亦失當トセザル所ナリ

即チ明理學ノ略説ハ我着ス書冊中七十六ニ就
 テ之ヲ着ル可シ
 法教法教ノ大眼目ハ既ニ兒童ニ道ノ教ヲ授ケ
 シ時之ヲ教ヘタル者ト為ス可ク而ノ又學校ニ
 於テ法教ヲ教ユルニハ大ニ其意ヲ加フ可キガ
 故ニ先ッ道ノ教ノ部ニ掲ケシ方法ヲ相繼テ教
 諭シ次ニ兒童ヲシテ毎日經典ヲ復讀セシメ且
 説教ヲ聽カシメ法教ノ書ヲ讀マシムルガ如キ
 通常ノ方法ヲ以テ敬神ノ念ヲ厚カラシム可シ
 國語抑古昔ノ國語一二種ヲ學ビ得其國語ノ書

數卷ヲ讀了セシヲ以テ世上之ヲ博識ト稱スル
 ハ大ナル誤リト雖モ亦博識ニ至ル可キ其教訓
 中ニハ必ズ古昔ノ國語ヲ學バシメサル可ラス
 而其古昔ノ國語ヲ教ユル端緒ヲ開クハ兒童ニ
 訓蒙ノ教ヲ授クル其期末ニ至リ以テ之ヲ為ス
 可シト雖モ亦真ニ之ヲ專務ノ科ト為シ以テ教
 ヲ可キハ十四歳以上ニ及ビシ後タル可シ是レ
 兒童ハ其齡十四歳以上ニ至ル時ハ其心智頗ル
 成熟ニ至ルヲ以テ幼稚ノ時三四年間勉勞剋苦
 以テ古語ヲ學バシムルヨリ僅カニ一年ノ時間

ヲ以テ更ニ善ク之ヲ學ビ得セシム可キニ因レ
 バナリ蓋シ理學又ハ文學ニ志ス者ノ為メニハ
 古語ヲ學フノ緊要ナル固ト言フ待タズシテ殊
 ニ文學ヲ以テ著目トスル教導ニ於テハ必ず古
 語ヲ以テ專務ト為スコク且彼希臘羅馬等古昔
 大家ノ著ハセシ書籍ハ之ヲ讀ム時自カラ人心
 ヲ脩清シ以テ温厚ナラシムルノ益アルヲ敢テ
 疑フ容レザル所ナリ然レバ唯希臘羅馬即チ等
 ノ古語ノミヲ以テ總テ教導ヲ為スノ大旨趣ト
 為スガ如キハ世人ノ誤ト謂フ可ク又兒童未タ

幼稚ニシテ古語ヲ學ビシ其裨益ヲ得ルヲ能ハ
 ザルノ際強テ之ヲ教ユル如キハ教法ノ宜シキ
 ヲ得タル者ト謂フ可カラズ(八十)

又兒童ハ古昔ノ國語ヲ教エシト否トヲ問ハズ
 其既ニ通常ノ訓蒙教導ヲ得タル後ハ之ヲシテ
 佛蘭西、日耳曼、以太利、等今世ノ外國語ヲ學バシ
 ムルヲ特ニ緊要ニシテ且方今歐洲ノ形勢ヲ顧
 ミルニ各國ノ交際愈厚ク人民ノ往來益稠キニ
 至ル可キガ故ニ外國ノ言語ヲ學バシムルハ必
 ズ實際上ニ大益アル者トスコク而テ縱令實際

上ニ外國ノ言語ヲ用フ可キ者ニ非ズト雖氏若
 シ之ヲ學ビ得ル時ハ概シテ言語ノ綱領ヲ了解
 シ能カラ明理ノ道ニ練熟スル習慣ヲ得ルニ至
 ル可シ是レ蓋シ前ニ記スルガ如ク本國ノ語ノ
 ミヲ學ブニ於テモ亦大着目ト為ス可キ所ナリ
 (六十一)

教導ノ用便ニ備フ可キ物

教導ノ用便ニ備フ可キ物ニ二種アリ一ハ家内
 ニ於テ備フル者又一ハ學校ニ於テ備フル者ナ
 リ
 夫レ母ハ天然其孩兒ノ教導ヲ為ス可キ務アル
 者ナリ故ニ兒ノ生ル、前後天然ノ規則ニ循ヒ
 カメテ其兒ノ身体ヲ壯康ナラシメ且其五官ト
 智心トヲ次第ニ發動ヤシメテ敢テ危害ニ罹ラ
 シムルナク之ヲ活潑ナラシメ以テ兒童ヲシテ
 其習慣ヲ規矩ニ合シ善道ニ適セシム可キノ務

アリ而ノ又孩兒タル者ハ常ニ其母ニ撫養保護
ヲ受ケ以テ已レノ歡娛ヲ得ルヨリ自カラ其母
ヲ敬戴尊仰シテ慕悦親愛ノ念ヲ生ズルガ故ニ
母ノ威望モ亦随テ大ナルニ至ル者ナリ諺ニ曰
ク母ハ實ニ其兒ノ為メ之ヲ神ト謂可シト故ニ
母ハ其所為甚ダ不良ナルニ非レバ其兒ノ二三
歳ニ至ル迄ハ之ガ身体ヲ壯康ナラシメ其心ヲ
良善ナラシムルガ為メ自カラ大ナル威權ヲ行
ヒ得可キ者トス
幼童ノ道ノ教ニ於テハ前ニ論ゼシ如ク其幼童

在ル所ノ景况即チ風俗ト父兄師傅ノ軌範トヲ
以テ頗ル重要ノ者ト為スガ故ニ幼童ノ未タ學
校ニ入ラザル前ハ家内ノ教導ヲ以テ固ト最要
必須ノ者ト為スヲ敢テ言ヲ待タザル所ニシテ
其既ニ學校ニ入ルノ後モ亦家内ノ教導ハ之ヲ
忽ニス可カラズ是レ蓋シ幼童ヲシテ善ヲ行フ
ノ習慣ヲ得セシメ且其敬神ノ念ヲ發動セシム
ルハ多ク家内ノ教ニ管スルガ故ナリ又父母
ハ其兒童ノ學校ニ於テ教導ヲ受クル益ヲ補ヒ
以テ更ニ之ヲ廣大ナラシメ得可キヤ世上一般

百人ノ知ラザル所ト雖是レ實ニ無量ノ資助
ヲ為シ得ル者ニシテ先ツ父母ハ第一ニハ其兒
童ヲシテ毎日定マリシ時刻ニ至ル時ハ必ズ之
ヲ學校ニ赴カシム可ク第二ニハ常ニ其兒ノ教
師ヲ敬シ兒童ヲシテ自カラ亦其教師ヲ敬スル
ノ念ヲ生ゼシム可ク而シテ此二者ハ真ニ重要ノ
事タルガ故ニ之ニ比スレバ父母ノ其家ニ於テ
兒童ノ教課ヲ督スルガ如キハ其益更ニ細少ナ
ル者トス然ルニ世上ノ父母タル者大ニ其見ル
所ヲ誤リ兒童ノ學校ニ赴クヲ嫌ヒ其業ヲ休セ

ント欲スル時ハ忽チ其言ヲ聽キ或ハ唯己レノ
遊樂歡娛ニ耽リ數日間其兒童ヲ學校ニ赴カシ
メズ然ラザレバ常ニ其兒童ノ教師ヲ輕視シテ
兒童ト語スルニ其教師ヲ侮慢スル辞ヲ用ヒ或
ハ親シク其教師ニ對シ不敬ノ辞ヲ出ス者アリ
顧ミルニ此等ノ事ハ全ク其兒童ヲシテ學校ニ
入ラシメタル益ヲ失ヒ且學校教導ノ方法ヲ害
スルガ故ニ凡ソ父母タル者ハ其大謬タルヲ省
ミ慎テ之ヲ避ク可シ
方今英國ニ於テ父母タル者其兒ノ教ヲ誤ルニ

百手全書 一編
世

二箇アリ即チ其一ハ工丁傭夫等ニ在テ此等ノ者ハ全ク其兒ノ教導ヲ不問ニ置キ毫モ注意スルトナク或ハ二三年間之ヲ學校ニ赴カシムル者アリト雖モ若シ其兒童絶カニ一箇ノ職業ヲ為シ得ル時ニ至テハ直ニ之ヲ學校ヨリ退カシメ或ハ未タ何等ノ科目モ學ビ得ザル前既ニ之ヲ學校ヨリ退カシムルノ習慣ナリ蓋シ此一事ハ獨リ工丁傭夫等其利ニ奔リ財ヲ貪ルノ念ヨリ生ズルノミニ非ズ思フニ亦其窮困貧窶ナルニ出テ其情已ムヲ得ザル者アリト雖モ方今工

丁傭夫等ニ教導ノ乏シキハ其原由全ク此ニ出ヅルヲ識者ノ皆曉知スル所ナリ又一ハ往々其兒童ヲシテ教ヲ受ケシムルノ益タルヲ知ル父母ニ在テ即チ其父母タル者兒童ヲシテ學校ニ赴カシメ其智心ヲ啓カント欲スルノ早キニ過クル弊ナリ蓋シ我輩ノ説ニ據レバ幼童ノ學校ニ入り書籍ニ就キ其教ヲ受クルハ通常六歳ヲ以テ其初ト為ス可キガ故ニ未ダ其齡ニ至ラザル兒童ハ既ニ前文幼童教訓ノ事ヲ論説セシ部中ニ記シタル如ク其教ヲ為ス可シ

凡ソ教導ノ用便ニ備フ可キ物ノ中ニ書籍ハ
 頗ル重要ノ者タルガ故ニ今「チャムブル」氏ノ教
 導書類ヲ次ニ記列ス
 一 幼童ノ教育ノ為メ父母心得方ノ書
 二 幼童取扱方ノ書
 三 英語ヲ教ユル書
 四 讀字教方書一枚摺物但シ都合十四枚
 五 アリテ各長サ二十三「イン」幅十八
 「イン」チアリ

- 四 第一讀本
- 五 第二讀本
- 六 讀法教授書
- 七 知識初步
- 八 通常物品教授書
- 九 勸善話本
- 十 作文原論
- 十一 文法原論
- 十二 文法及作文書
- 十三 語源論

百利全書 一册 文部省

十四 能辨學大旨

十五 英語及英文論

十六 習字及画法

十七 習字本十五冊

十八 「長十七センチ幅十
四センチ紙ヲ云フ」
習字本十冊

十九 第一画本

第二十 第二画本

二十一 画本十八冊但シ通常ノ画學ヨリ遠

景画學ニ至ル迄ノ諸課

器械画本三冊

二十二 建築画本三冊四冊ノ具出ニ目録

二十三 平度画本二冊二冊ノ具出ニ目録

二十四 アチク建築法画本附種々ノ模形

二十五 羅馬建築法画本附種々ノ模形

二十六 蒸氣凝縮器械ノ画本ハ大體四ノ

二十七 粧飾物画本ハ大體四ノ

二十八 蒸氣器械ノ画本附其模形

二十九 器械類及車類齒輪ノ圖

地理學

三十 地理學初歩

百利全書 下篇 世三 文部省

- 三十一 英吉利地理書
- 三十二 蘇格蘭地理書
- 三十三 經典地理書 漢語譯入圖
- 三十四 地理總論 漢本附其註
- 三十五 大ナル學校用懸壁地圖十箇 本十冊
- 三十六 初歩地圖但シ彩色シタル大紙四ツ折
- 三十七 近世及ヒ古昔ノ地理ヲ學ブ為メノ學校用地圖但シ彩色ヲ為シタル大紙四ツ折ノ圖三十四枚ト見出シ目錄トア

- 三十八 「ウジヨシソン」及ビ「エ、ケ、ジヨシソン」ノ両氏所著ノ學校用及ビ家内用小地圖
- 三十九 古代史
- 四十 中古史
- 四十一 近世史
- 四十二 希臘史
- 四十三 羅馬史
- 四十四 英國史

四十五 兒童ノ軌範心得トナル可キ人物傳

四十三 算術及ビ數學

四十六 算術初步

四十七 進級算術書

四十八 算術解引

四十九 單記復記ノ主簿學

五十 單記ノ主簿學

五十一 單記主簿學教授ノ為メ二箇ノ條線ヲ

三十八 引キタル書

五十二 復記主簿學教授ノ為メ二箇ノ條線ヲ

引キタル書

五十三 代數學

五十四 代數學解引

五十五 代數學問題ノ答アル書

五十六 代數學問題ノ答ナキ書

五十七 平面幾何學

五十八 平面幾何學解引

五十九 立形及球形幾何學

六十 實際用數學

六十一 實際用數學解引

百利全書 一編 文部省

六十二 數學表

學術

六十三 學術初步

六十四 物体及ビ動行ノ法

六十五 器械學

六十六 静水學動水學

六十七 音學

六十八 光學

六十九 星學

七十 電氣學

七十一 空中顯象學及ビ格物窮理學第一卷

第二卷

七十二 學士「ウィルソン」氏ノ化學

七十三 地成學

七十四 動物學

七十五 動物窮理學

七十六 植物窮理學

七十七 經濟學

七十八 學術表

七十九 學術繪圖但シ「カ、ジョンソン」及ビ「エ、ケ、ジョ

百利全書 下編 第六

八十 羅甸語教授書類但シ此書類ニハ英語

ノ注解及ビ序文等數多アリテ其書

名ハ左ノ如シ

「ロヂマシ」氏ノ羅甸語初歩

羅甸語初歩

進級ノ羅甸語初歩

羅甸語初歩

進級ノ羅甸語初歩

進級ノ羅甸語初歩

「フエドリユス」ノ小説

「子ボス」

「ジーザル」

「サルリユスト」

「ク井ンチユス、キユルチユス」

「ラウキッド」

「ホレース」

「ウ井ルジル」二卷

「リウ井」

「シヤロ」

羅甸語英語對譯字書

八十一 日耳曼語教授書類但シ「イゲンバラ」

府ノ上等學校ノ日耳曼語教師「トク

トル」アウエ氏ノ著ス所ニシテ其書

名ハ左ノ如シ

第一日耳曼語讀本

第二日耳曼語讀本

日耳曼文法初歩

進級ノ日耳曼文法書

英語日耳曼語對譯話本

日耳曼語英語對譯字書但シ其中ニ

テ日耳曼語ヲ先ニ記シ英語ヲ後ニ

記スル部分

英語ヲ先ニ記シ日耳曼ヲ後ニ記ス

ル部分

日耳曼語似義辨正字書

音樂

八十二 音樂教授書

抑幼童先ツ家内ニ在テ教導ノ初歩ヲ受ケタル

後ハ次ニ所謂幼童學校ニ赴キテ其教ヲ受ク可

ク而メ幼童學校ニ於テハ男女ヲ合シ百人許ノ
幼童ヲ教ユルヲ常トシ如何ニ多數ノ幼童ヲ教
ユルト雖決シテ百四十人ニ過ク可カラズ又
其教師ハ男一人女一人ニシテ男ノ教師ハ男兒
ノ教ヲ掌リ女ノ教師ハ女兒ノ教ヲ掌リ且其教
師ハ夫婦タルヲ以テ最良トス可ク或ハ間女教
師ノミニシテ幼童學校ヲ管理スル者アリ蓋シ
幼童學校ハ風入リヲ善クシ長キ部屋アリテ其
内ニ机ヲ備ヘ之ヲ六七層ト為シテ後層ノ机ヲ
最モ高クシ之ニ最モ年長ノ兒童ヲ坐セシメ前

層ノ机ヲ最モ低クシ之ニ最モ年少ノ兒童ヲ坐
セシム可ク壁ニハ天然物人造物等通常物品ノ
繪圖ヲ懸ケ且粉板算盤ノ如キ器具モ亦備ヘ置
ク可シ又此學校ニハ遊歩所ヲ設ケ且花園ヲ造
リ兒童ヲシテ之ヲ毀損セザルノ習慣ヲ得セシ
メ便所ヲ設ケ置キ之ヲ清潔ナラシムルノ習慣
ヲ得セシメ圓形ノ鞦韆器ヲ設ケテ兒童ヲ樂マ
シメ且其身体ヲ壯康ナラシメ又煉化石ノ形ニ
似タル數箇ノ木片ヲ設ケ置キ兒童ノ所好ニ任
カセテ家或ハ塔ノ如キ諸般建築物ノ形ヲ模作

幼童學校ノ教師ハ温厚博愛ニシテ事ヲ耐忍ス
ルノ無涯ナル者ヲ要ス可ク且其智慧發動シ其
性質活潑ニシテ常ニ幼童ヲ其課業ニ倦マザラ
シムルヲ欲シ殊ニ音樂ノ理ヲ知リ其色音ノ美
ナルハ幼童學校教師ノ為メニ願ル必須ノ事タ
ルガ故ニ其教師タルニ適當ナル人ヲ擇ムハ又
甚ダ容易ナリトセズ
訓蒙學校ハ幼童學校ヨリ更ニ一層進級シタル
學校ニシテ歐洲諸國ノ此學校ニ於テ教ユル科

目及ビ教授ノ方法ハ各互ニ異同アリ而シテ英國
ニ於テハ此學校ノ制度多クハ字漏生、荷蘭等ニ
及バザル者トス蓋シ學校ノ制度ヲシテ完全具
備ナラシムルヲ欲スルニハ元來幼童學校ト大
學校トノ間ニ二種ノ學校アル可ク而シテ其一ハ
初歩學校ト名クル者ニシテ何人ヲ論ゼズ衆庶
ノ學バザル可カラザル普通ノ學科ヲ教ユルヲ
旨トシ又一ハ進級學校ト稱スル者ニシテ專務
ノ職業ニ就キ或ハ政ヲ執テ身ヲ立テ名ヲ揚ク
ルヲ欲スル者ヲ教ユルヲ旨トシ以テ初歩學校

ノ科目ヲ繼續シ更ニ其高尚ナル事ヲ教ユテ大
 學校ニ入ルノ預備ヲ為ス者ナリ今蘇格蘭ノ田
 舎ニ設ケタル村邑學校ハ彼初步學校ニ彷彿タ
 ル者ニシテ又所謂言語學校ハ進級學校ト相似
 タル者ト謂フ可シ
 夫初步學校ハ專ラ六歳ヨリ十歳乃至十一歳ニ
 至ル幼童ニ適ス可キ者ナルガ故ニ官府ニテ全
 國人民教導ノ制度ヲ創立スル國ニ於テハ人口
 千人毎ニ初步學校一箇所アルヲ必要トス而シ
 斯ク此學校ヲ設クル時ハ通常此學校ニ來テ其

教ヲ受クル生徒ノ數大抵百人乃至百五十人ナ
 ル可ク且此學校ニ於テ專ラ教ユル所ハ科目ハ
 讀法、文法、算術、地理、歴史、學術等ノ初步及ビ道ノ
 教習タルガ故ニ何人ヲ論ゼズ皆其兒童ヲシテ
 此教ヲ受ケシメザルヲ得ス蓋シ全國ノ兒童通
 常學科ノ教ヲ受ケ以テ身ヲ修ムルノ道ヲ知リ
 且其智心ヲ増スハ是レ實ニ國家ノ為メ最モ重
 要ノ事タルガ故ニ顧ミルニ幼童學校及ビ初步
 學校ノ二種ハ專ラ官ニテ之ヲ照管セザル可カ
 ラズ既ニ字漏生ニ於テハ政府大ニ之カ注意ヲ

為シ國中ノ兒童ニ初步學校ニ至ル迄ノ教導ハ
 必ズ之ヲ受ク可キノ法ヲ立テタリ然ルニ今英
 國ノ如キハ其人民固ト政府ノ法令ニ抑制セラ
 ルヲ欲セザルガ故ニ兒童ヲ強テ學校ニ入ラ
 シム可キノ法ヲ立ツルヲ能ハズト雖モ思フニ
 カメテ其父母タル者ヲ鼓舞シ以テ其兒ヲ學校
 ニ入ラシムルノ念ヲ生ゼシムルヲ善トス可ク
 而ノ又官ニテ幼童學校及ビ初步學校ノ教導ヲ
 照管スル時ハ此二種ノ學校ニ於テハ必ズ酬謝
 ヲ收メザルノ法ヲ定ム可シ然ル時ハ窮困貧窶

ノ輩其兒ノ教導ヲ為ス資力ナキニ苦ミ巴ムヲ
 得ズシテ之ヲ不問ニ置キ其成長スルニ及テ終
 ニ國家ノ禍害ヲ醸ス凶人タルニ至ラシムルノ
 虞ヲ免ルヲ得可シ又官ニテ酬謝ヲ收メズ教
 導ヲ為ス時ハ其教ヲ受クル者敢テ教導ノ貴キ
 ヲ知ラズ故ニ其益少ナカル可シトノ説ヲ唱フ
 ル者アリト雖モ詳カニ之ヲ實際ニ考フル時ハ
 蓋シ政府ニ於テ學校ノ費用ヲ給スルハ即チ全
 國ノ人民ニ租税ヲ賦スル報ニ出テ又地方官ニ
 於テ學校ノ費用ヲ給スルハ其地方ノ人民ニ租

百科全書 一
税ヲ賦スル報ニ出ソレハ敢テ酬謝ヲ收メザル者ト謂フ可カラズ而シテ其父母タル者モ亦嘗テ己ノ官ニ納メシ税額ヲ其學校ノ費用ニ充テタルヲ知ル時ハ恰モ學校ニ其児童教導ノ酬謝ヲ納メタルト同視ス可キナリ
此ニ又教授ヲ為スハ是レ亦一人學術ニシテ教師タルヲ欲スル者ハ固ト天授ノ才アルノ必要ナル敢テ言フ待タザレトモ如何ニ鋭才ノ者ト雖モ亦其教授ヲ為スニ預メ其法ヲ學バザレバ方今文明ノ世ニ於テ教師タルニ堪ユ可カラズ

故ニ教師タルヲ欲スル者ハ其教ヲ為ス前テ教導ヲ為スノ方法及ビ教訓ヲ為ス可キ科目等ヲ詳細ニ通知スルヲ必要トシ且現ニ教ヲ施スニ當リ至當適宜ニ之ヲ為サント欲スルニハ預メ其法ヲ習熟ス可ク殊ニ各所ノ學校ヲシテ其教導法ヲ一定ナラシムルハ頗ル緊要ノ事タルガ故ニ更ニ教師トナル可キ者ヲ教育スル一種ノ學校ヲ設立セザル可カラズ是レ即チ師範學校ノ設アル所以ナリ
(原註)師範學校ノ缺ク可カラザルニ付キ千八

百五十六年英國學校監督イ、シ、チ、フ、子、ル、氏、ヨ
リ建言ノ文ニ曰ク余近年實際ニ涉リ以テ檢
査ヲ為スニ讀字、習字、算術、綴字、英語、地理等普
通學科ノ初歩ヲ教ユル方法ニ付テハ中人以
上ノ兒童ヲ教ユル通常ノ學校ニ於ケルヨリ
貧兒學校ヲ更ニ善シトス是レ其畢竟ヲ考フ
ルニ蓋シ貧兒學校ハ其教師タル者皆師範學
校ニ於テ其教ヲ受ケシニ出テ而シ今英國ニ
於テ貧兒學校ノ教師ト為ス可キ者ヲ教ユル
師範學校ノ數ヲ算スルニ既ニ四十箇所ニ及

ブガ故ニ嘗テ數年前荷蘭ニ於ケルガ如ク普
通學科ノ教導ニ付テハ貧兒ノ進歩富兒ノ進
歩ヨリ更ニ速カナルニ至レルテリト
前ニ説キシ如ク幼童學校及ビ初歩學校ノ二箇
ハ全國ノ兒童悉ク之ニ入り其教ヲ受ク可キカ
故ニ官ニテ之ヲ照管シ以テ其費用ヲ給ス可ク
且方今英國ニテ設立シタル初歩學校ニ類スル
諸學校ニ於テハ大抵兒童九歳ニ至ル時既ニ全
ク初歩ノ學科ヲ學ビ終リ更ニ上等ノ學校ニ移
リテ進級ノ學ニ就ク可キノ定メ現ニ實際上ニ

行ハル、ガ故ニ智心ノ教ヲ施ス可キ學科ヲ其
 舊ニ依リ以テ更改セザル中ハ兒童大抵九歳ニ
 シテ初步學校ヲ出ルモ亦失當ナリトセズト雖
 氏若シ今我が説ニ據リ必ズ全國ノ兒童ニ教ユ
 可キ普通ノ科目ヲ増サント欲セバ兒童ヲシテ
 十二歳乃至十四歳ニ至ル迄初步學校ニ在ラシ
 メ其教ヲ受ケシム可キナリ
 進級學校ナル者ハ即チ英國ノ「グラマ、スクール」
 及ビ「アカデミー」、佛國ノ「コルレジ」及ビ「バンシヨ」
 瑞西并ニ日耳曼列國ノ「ビュルゲル、スクール」及ビ

「シムナシア」ニ當ル者ニシテ資産ノ中人以上ナ
 ル兒童ニ適スル學校ナリ蓋シ資産ノ中人以上
 ナル者ハ其智モ亦高カル可ク且其職業ノ為メ
 別段ノ教ヲ受ク可キガ故ニ初步學校ニ於テ普
 通學ノ初步ヲ學ビシノ後ニテハ未タ以テ足レ
 リトセズ更ニ進級學校ニ入テ相當ノ教導ヲ受
 ケザル可カラズ且此進級學校ニテ教ユル所ハ
 法律學、醫學、神學及ト其他種々職務ニ志ス者ハ
 為メ之ヲ大學校ニ入ラシムル預備ナルガ故ニ
 總テ中人以上ノ者ハ進級學校ニ於テ教ヲ受ケ

以テ初歩學校ニ於ケルヨリ更ニ一層審カニ諸
般ノ學識ヲ研ク可ク而ノ此學校ニ於テ其教ユ
可キ科目ハ既ニ前ノ進級ノ書ヲ記列シタル部
中ニ就キ以テ之ヲ看ル可シ又此進級學校ハ中
人以上ノ兒童ヲ教ユルヲ其旨趣ト為スト雖
敢テ其以下ノ者ハ之ヲ教ユガルニ非ズ力メテ
其酬謝ノ高ヲ減ジ其酬謝ヲ納ムルノ資力アル
者ハ何人タルヲ問ハズ之ヲ教ユルヲ許ス可ク
然ル時ハ下等卑賤ノ兒童ト雖モ又此學校ニ來
リ以テ博ク學識ヲ研キ其材幹ニ准ジ高貴富豊

ノ人トナル基ヲ開クヲ得可シ又其
法教ニ管スル教導ハ既ニ前文ニ説クカ如ク
童教導ノ時間常ニ學校ニ於テ之ヲ為ス可シト
雖モ法教ハ固ト數箇ノ教派アリテ經典中ノ文
意ヲ解釋スルニ互ニ其説異同アルガ故ニ學校
ニ於テ甲ノ教派ノ説ニ從ヒ以テ經典ヲ教ユル
時ハ乙ノ教派ニ屬スル父兄ノ兒童自然之ニ參
加セザルノ勢ニ至リ又乙ノ論ニ從ヒ以テ教ユ
ル時ハ甲ノ兒童之ニ參加セザルノ勢ニ至ル可
ク而ノ又學校ニ於テ教派ノ互ニ討論ス可キ箇

條ヲ全ク不問ニ置ク時ハ各互ニ其信據スル説
 ヲ児童ニ教エント欲スル父兄其児童ヲシテ學
 校ニ入ラシムルヲ無益ト為スノ害ヲ生ズ可シ
 故ニ此一事ハ特ニ困難ヲ極ムル者トス然ルニ
 近年荷蘭愛爾蘭加拿他等ノ國ニ於テハ此困難
 ヲ除カンガ為メ一箇ノ新法ヲ設ケ其學校ニ於
 テ通常舊古ノ時限中ハ經典ノ中互ニ爭論ナキ
 箇條ノミヲ児童ニ教ヘ且經典ニ依テ勸善ノ道
 ヲ教エテ其餘ノ時限ニ於テハ甲ノ教派ニ屬ス
 ル児童ハ其同派ノ教師經典中ノ文意ヲ其派ノ

説ニ從ヒ以テ之ニ教ヘ乙ノ教派ニ屬スル児童
 ハ亦其同派ノ教師其派ノ説ニ從ヒ以テ之ニ教
 エルヲ定メタリ蓋シ此法ニ據ル時ハ如何ナル
 教派ノ児童ト雖モ與ニ相和輯シテ教導ヲ受ケ
 以テ互ニ普通ノ裨益ヲ蒙リ且法教ノ道ニ於テ
 モ亦能ク之ヲ學ブヲ得可シ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '教育' and '児童'.

専門教導及ビ百工教導

凡ソ教導ヲ為スノ着目ハ男女ヲ論ゼズ之ヲシテ
テ鋭敏有徳ナラシメ以テ其職ニ務ムルヲ教ヘ
ント欲スルニ在レバ如何ナル児童ト雖モ普通
科ノ教導ヲ受ケガル可カラズ然レモ開化ノ各
國ニ於テハ人民ノ職業千種百般縷擧ス可カラ
ザルガ故ニ児童ヲシテ各其志ス職業ニ應ジ以
テ特ニ専門ノ學科ヲ學バシメザルヲ得ス而シ
テ此専門科ノ教導ハ心ノ教ニ管スル者アリ又
ハ器械百工ノ教ニ管スル者アリテ夫ノ大學校

ニ於テ教ユル高尚ノ科目中ニモ數箇ノ學術ヲ
 包含スル專門ノ理學科アリ又法律學、醫學、神學
 ノ專門科アリテ其科又分レテ數種トナリ加之
 近世學藝ノ進歩セシニ因リ數箇ノ工藝ヲ以テ
 職業ト為ス者其數又夥多ナルカ故ニ工丁傭夫
 ノ如キハ姑ク置キ其主宰タルヲ欲スル者ノ為
 メニハ特ニ其職業ニ管スル專門科ヲ教ヘザル
 可カラズ即チ其梗概ハ器械學、鑛山學、實用化學
 等ノ類ニシテ英國ノ大都會ニ於テハ其專門科
 ノ學校數箇ノ設ケアリ又衆庶ノ為メ必須ナル

ヨリ極メテ重大ニ至リシ專門科ハ農學及ヒ高
 學ノ二箇ニシテ就中高業ノ如キハ實ニ方今英
 國ノ為メ最モ重要ノ者タルガ故ニ初步學校ヨ
 リ一層上等ニ居リ且古語羅甸希臘ヲ教ユルヲ
 旨趣トセザル學校ハ多クハ高業ニ管スル科目
 ヲ教ユルヲ其着目トス可キ者ト謂フ可ク即チ
 通常高業ニ管スル教導ノ為メ必要ナル科目ハ
 習字、算術、主簿學ノ三箇ニ在リ而シテ此三科ハ高
 業ノ為メ固ト其缺ク可カラザルヲ敢テ論ヲ待
 タズト雖モ尋常ノ才智アル少年輩ハ其初步ヲ

學ビ得タル後ハ現ニ高業ヲ営ムニ因リ自カラ
 練熟シテ其日用ヲ達スルニ至ル可シ然ルニ夫
 ノ經濟學ノ如キハ現ニ高業ニ属スル者ト雖氏
 敢テ自然ニ學ビ得キニ非ズシテ且高估ノ為
 メニハ殊ニ知得セザル可カラザル須要ノ學科
 タルガ故ニ高業學校ニ於テハ專ラ之ヲ教ユ可
 キ者トス蓋シ近年高估及ビ製造者等經濟學ノ
 道ヲ知ラザルヨリ正直敏巧ニ高業ヲ営ム可キ
 ノ教タル富財法ヲ解セザルノ甚シキヲ現ニ著
 ルシキ所ナリ又經濟學ノ教ハ之ヲ受クルノ緊

要ナル獨リ高估ノ為メノミニ非ズシテ總テ全
 國ノ人民各善ク其生涯ヲ成就シ且國ニ對スル
 ノ務ヲ正シク了解セント欲スルニハ上ハ執政
 ヲリ下ハ工丁ニ至ル迄皆其道ヲ知ラザル可カ
 ラズ故ニ讀字習字ノ二科ノミヲ限トセザル學
 校ニ於テハ兒童養生法ノ大略ヲ學バシメタル
 後經濟學ノ大略ヲ學バシメ以テ富財ノ法ノ如
 何ナルヲ了解セシム可キナリ
 抑農業學校ノ初メタルハ千八百六年「ブル
 ベルグ」氏瑞西國「ホフウエール」ニ於テ之ヲ設立シ

百利全書 一節
タルニ起リ其後瑞西及ビ日耳曼ノ二國ニ於テ
此類ノ農業學校數箇ヲ設立シ且英吉利及ビ蘇
格蘭ニ於テモ亦將來農業ニ從事セント欲スル
豪家ノ兒童ヲ教ユル為メ大學校ニ於テ專門農
學ノ講義ヲ為スニ至ルリ然ルニ今農業ノ學ヲ
勉ムル其第一タルハ愛爾蘭ニシテ此國ニ於テ
ハ土地ヲ細小ニ區分シ土地ノ持主ハ自カラ鋤
鋤ヲ把テ耕耘ヲ為スガ故ニ其農業ノ事ニ注意
スル實ニ驚ク可ク現今既ニ農業學校數箇ヲ設
ケ其中軌範ト為ス可キ為メノ學校三十七箇所

通常ノ農業學校五十一箇所製造所ニ添フタル農
學校七十七箇所アリト云フ蓋シ此等ノ農業學校ニ
於テハ農業ニ諳熟シタル教師ノ指令ヲ受ケ兒
童親カラ現ニ耕耘ノ業ヲ為シ且傍ラ時限ヲ定メ
テ通常ノ學校ニ於ケルカ如ク普通ノ諸學科ヲ學
ビ兼テ農業ノ原旨ヲ學フヲ以テ畧其教授ノ定
則トス此ニ由テ之ヲ思フニ愛爾蘭ノ兒童斯ク
ノ如ク數年間農業ノ教ヲ受ケ然ル後真ニ實際
ニ涉リテ耕耘ノ業ニ就ク時ハ農業學校資益ノ實
ニ許多ナルヲ世上ニ明白ナルヲ得可キナリ

一箇ノ工藝職業ニ熟セシムル為メ児童ヲシテ
年期ヲ定メ現ニ奉公ヲ為サシメ以テ其藝業ヲ
學バシムルハ亦教導ノ一ナリト雖氏世上ノ人
ハ通常其児童ノ既ニ學校ニ於テ教導ヲ受ク可
キ期限ノ終リシヲ思慮スル時ニ至リ初メテ其
事ヲ為サシムルガ故ニ今此教導書中ニハ敢テ
之ヲ論ズ可キ者トセザレ氏方今父兄タル者ハ
大約其児童ヲシテ通常ノ學校ヨリ漸ヲ逐ヒ工
藝ヲ學ブニ遷ラシメズ突然其業ニ遷リ就カシ
ムルノ過急ナル弊害アリテ先ツ第一ニ貧人ノ

如キハ或ハ其情已ムヲ得ザルニ出テ或ハ其意
早ク利ヲ得ント欲スルニ出テ其児童ノ齡之ヲ
労働セシメ以テ少許ノ利益ヲ得ルニ足ル可キ
ヲ思量スル際ニ至ル時ハ之ヲシテ退學セシム
ルヲ其常トス故ニ英國學校監督ノ言ニ凡ソ工
丁傭夫ノ児童ハ其齡十二歳ニ至ル迄教導ヲ受
クル者少ナク通例ハ皆九歳ニシテ學校ヲ退キ
教導ヲ受クルヲ止メ加フルニ其児童ノ學校ニ
赴ク時間ト雖氏出席ノ數常ニ少ナキガ故ニ一
週間大抵三四回ニ過クル者希ナレバ其實ハ敢

テ教導ヲ受ケザル者ニ近クシテ其僅カニ學ビ得タル讀字習字ノ二科ニ於テモ成長ノ後之ノ實際ニ用フルヲ得ル者ハ實ニ甚ダ少ク且縱令少許ノ科目ヲ學ビタル者ト雖モ亦幾ナク之ヲ忘却スルニ至ル可シト

茲ニ又中等ナル身分ノ者若クハ工丁中儲蓄アル者ト雖モ其為ス所ヲ觀ルニ大抵其兒童ヲシテ十四乃至十六歳ノ齡ニ至ル迄專ラ學校ニ在テ善道ノ教及ビ智心ノ教ヲ受ケシメ然ル後頓カニ之ヲ學校ヨリ退カシメ數年間慣熟シタル

壯年輩ヲ遇スルカ如ク終日之ヲ勞動セシムルヲ其常トス是レ甚タ道理ニ悖リシ處置ト謂フ可シ蓋シ人ノ毎日勉勵シテ間斷ナク一箇ノ職務ニ従事スルハ顧ミルニ是レ容易ノ事ニ非ズシテ此文明開化ノ民ト夫ノ半開化ノ民或ハ野蠻トニ於ケル其別アル者殊ニ此一事ニ管ス可ク而シテ兒童ハ其智未ダ開ケズ其職未ダ廣カラザレバ要スルニ之ヲ此開化人民中ノ蠻夷ト稱ス可キ者ナリ故ニ其間斷ナク一ノ職務ニ従事シテ剋苦勉勵ヲ嫌フノ念固ト甚シキ者トス然

ルニ其父兄タル者頓ニ之ヲシテ劇シク労働ヲ
為サシメ以テ其倦怠セザルヲ欲スルハ特ニ不
良ノ事タルニ因リ児童ハ漸ニ之ヲシテ労働ノ
習慣ヲ得セシム可キ為メ其未タ學校ヲ退カス
普通ノ教導ヲ受クルノ際先ヅ少シク工業ニ就
キ労働ヲ為スル端緒ヲ開キ以テ其身体稍強剛
ニ至リ智心稍啓發スルニ及ヒ然ル後ニ次ヲ逐
ヒ毎日其労働ヲ為ス時限ノ數ヲ増加ス可シ蓋
シ今余カ平常見ル所ニ就キ之ヲ言フニ從來兒
童其工藝ニ就クノ初メ或ハ労働ニ耐ヘズシテ

其主長ノ家ヲ遁走シ畢生竟ニ惰怠不頼ノ徒々
ルヲ免レザルニ至ル者大抵皆其學校ヲ退クノ
後頓ニ之ヲ勞役スルノ過甚ナルニ出ツ故ニ若
シ其習慣ヲ一變シ以テ漸ヲ逐ヒ次第ニ工藝ニ
就カシムルノ法ヲ用フル時ハ児童畢生能ク其
業ニ勉メ國家ノ為メ有益ノ人タルヲ得可ク而
メ此法ハ児童ノ學校ニ於テ普通學科ノ教導ヲ
受クル妨害ヲ為スナク殊ニ英國ノ如キハ此
法ヲ用フル時ハ實ニ児童ヲシテ人タル者ノ缺
ク可カラザル必須ノ學科ヲ學ビ得可キノ齡ニ

至ル迄學校ニ在ルヲ得セシメ兼テ各人生計ヲ
為ス工業ヲ學ビ得セシムルヲ得可シ
前文ニ記スルガ如ク兒童相當ノ年齢ニ至リシ
後ハ數年間學校ノ教導ト工業ノ教習トヲ相兼
子共ニ受ケシムルヲ最良ト為スハ敢テ疑フ容
ル可キニ非ズト雖氏若シ實地ニ涉リ此二箇ノ
教ヲ互ニ相觸害セシムルナク施行スルノ良法
ヲ考索ヤント欲スルハ實ニ容易ニ非ズシテ方
今教育法中ノ一難事トスル所ナリ蓋シ近年英
國議院ニ於テ製造所内其使用ヲ受クル兒童ヲ

シテ所謂半日教導ヲ受ケシム可キノ法則ヲ定
メタルハ頗ル其宜キヲ得タル者ト謂フ可ク而
ノ此法則ニ據レバ兒童八歳ノ齡ニ至ル時ハ製
造所ニ於テ使用スルヲ得可シト雖氏總テ八歳
ヨリ十三歳ニ至ル迄ノ兒童ハ毎日六時半以上
之ヲ使用ス可カラザルガ故ニ兒童ハ毎日三時
間必ズ學校ニ赴クヲ得可ク且此類ノ兒童ハ其
學校ニ出ル時限毎日僅カニ三時即チニ過キス
ト雖氏其時限ノ短キニ比スル時ハ終日教導ヲ
受クル兒童ヨリ其學業進歩ノ却テ速ナル實地

百利全書 一 卷
經驗ニ於テ既ニ明白ナルニ至リ加フルニ半日
教導ヲ受クル児童ハ其學校ニ赴カサル時間常
ニ製造所ニ在テ其工業ニ勉勵シ殊ニ諸事ニ巧
敏ナル習慣ヲ得ルガ故ニ畢生其製造所ノ工丁
タルト否トニ管セズ必ズ其終身ノ大益ヲ受ク
ルヲ得可シ因テ之ヲ考フルニ上ニ記シタル製
造所ノ法則ハ凡ソ家事ヲ除クノ外鑛山其他総
テノ工業ニ就キ使用ヲ受クル児童ニモ亦之ヲ
及ボシ用フ可キ我輩ノ特ニ希望スル所ナリ
方今貧困ノ児童ヲ教育スル諸學校即チ村邑共

立學校粗衣學校貧困ノ児童ヲ教ユル及ビ諸工
業學校ニ於テハ普通科ノ教導ト工業ノ教習ト
ヲ相兼子シメザル者ナク又児童ノ懲治場ニ於
テハ労働ヲ以テ懲治ノ基本ト為ス其大旨々
リト雖モ此事ニ就キ其困難ト為ス可キハ即チ
児童ニ適當シタル工業ヲ考索スルノ難キニ在
リ蓋シ児童ヲシテ普通科ノ教導ヲ受ケ兼テ工
業ヲ學バシムルハ固ト必ズシモ児童ヲシテ長
シテ人ト成ルノ後其工業ヲ以テ己ノ職務ト為
サシムルヲ着目トスルニ非ズ縱令ヒ之ヲ着目

トスルモ亦之ヲ實地ニ施行スルノ容易ナルニ
非ガレバ其着目ト為ス可キハ児童ノ身体ヲ壯
健ナラシメ其筋骨ヲ強剛輕捷ナラシメ且勞動
ニ耐ユル習慣ヲ得セシムルニ在ルカ故ニ如何
ナル種類タルヲ問ハズ此着目ト為ス所ヲ達ス
ルニ最モ適シタル工業ハ即チ工業教習ノ為メ
用フ可キ者ニ過クルナシ然ルニ方今各所ノ貧
兒學校ニ於テハ縫織及ビ製沓ノ業ヲ以テ經濟
ノ為メ資益アリトシ且其簡便ニシテ為シ易キ
ニ因リ專ラ之ヲ児童ニ教習セシムルト雖氏此

工業ハ児童ノ身体筋骨ヲ壯剛ナラシムルニ其
益甚ダ少ナキガ故ニ實地ニ此事ヲ經驗セシ者
ノ論ナル所ニ因レバ耕耘ノ業ヲ以テ男児ノ為
メ最良ノ工業ト為ス可キヲ敢テ疑フ容ル可キ
ニ非ズト云ヒ又其耕耘ニ亞キ男児ノ為メ有益
ナルハ匠工及ビ鍛工ノ業ナル可シト云フ蓋シ
方今英國ノ共立學校ニ於テハ學校附属ノ田園
アリテ児童ヲシテ之ヲ耕耘セシムル者多ク而
ノ其田園ハ児童五六人毎ニ一「エークル」即チ四
四十「ヤ」ノ地ヲ具ヘ以テ十分ナリトシ且其產

物ハ多クハ製作場ニテ用フ可キ野菜類ヲ植ヘ
 殊ニ其田園收納物ノ價ヲ審カニ算計スルニ地
 代其他ノ諸費ヨリ児童ニ與フル少許ノ償酬ニ
 至ル迄之ヲ除キテ猶相應ノ利潤アル者多シト
 ス
 前ニ説ク所ハ貧兒學校ニ限リシ事ト雖凡通常
 一般ノ學校ニ於テモ亦児童ニ普通學科ノ教導
 ト工業ノ教習トヲ同時ニ授ケント欲スルニハ
 其要スル所同一ニシテ相異ナラサルガ故ニ智
 心ノ教ト工業ノ教トヲ問ハズ特ニ一箇ノ科目

ノミヲ限リ之ヲ教ユルハ其宜シキヲ得タル者
 トス可カラズ故ニ児童ハ總テ其身体及ビ智心
 ノ能力ヲ啓キ之ヲシテ其成長ノ後如何ナル職
 業ヲ為スニ管セズ終身實地ノ資益ヲ得セシム
 可ク且夫ノ田園ヲ耕作スルノ業及ヒ匠工ノ器
 具ヲ用フルノ業ハ獨リ身体健康ノ為メノミニ
 非ズ人ハ皆尊卑ノ別ナク園庭ヲ作クルノ器具
 及ビ匠作ノ器具ヲ巧ニ用フ可キト必要ナルガ
 故ニ男兒ヲシテ此業ニ勉メシム可キナリ
 茲ニ又女兒ニ工業ノ教習ヲ授クルハ之ヲ男兒

百利全書 一 卷
二比スレバ更ニ必須ト謂フ可シト雖其家事
ヲ處置スルニ於テ通常為ス可キ諸件ハ女兒其
家ニ在ルノ日其母ノ指令ヲ受ケ且其軌範ニ倣
ヒ自カラ之ヲ學ビ得可キガ故ニ當然學校ニ於
テ教ユ可キ綱要ハ其家内ニ於テ學ビ得カラ
ザル諸事ヲ教ヘ以テ其智心ヲ啓クニ在リ然ル
ニ英國工丁等ノ家ニ於テハ不幸ニシテ其母タ
ル者通常家ヲ治ムルニ必要ナル諸件ヲ其女兒
ニ教ユルヲ能ハザルガ故ニ其方法ヲ了知スル
者希ナリ今其緣由ヲ尋ルニ蓋シ英國ニ於テハ

近歲製造工作ノ業盛昌ナルニ隨ヒ各工丁等其
家ニ於テ工業ヲ為スノ習慣次第ニ廢絶シ皆巨
大ナル製造所ニ集合シテ工業ヲ為スヲ其常ト
スルニ至リシガ故ニ工丁等ノ家事ヲ治ムル方
法モ亦自カラ一變シ且英國政府ニ於テハ人民
ノ教導法ヲ統理スルヲ甚ダ嚴密ナラズ常ニ各
人ノ意ニ任ジテ置テ問ハザルヲ定論トス因テ
方今工丁ノ妻タル者多クハ其母ノ知得セシ治
家ノ方法ヲ毫モ了解セズシテ割烹縫織ヨリ洗
濯等ニ至ル迄概子之ヲ為スヲ能ハザレハ家内

ノ食物ハ其味薄ク粗悪ニシテ消化ノ害ヲ為シ
養生ノ益ヲ得ルヲ能ハズ殊ニ其生理ノ為メ大
ニ經濟ノ道ヲ欠キ又其家内ノ模様ハ総テ不潔
ニシテ眠食坐卧自カ防不快ヲ覺ユルニ因リ良
人タル者之ヲ忌ミ其家ニ在ルヲ悦ハズ且ニ鄙
陋ノ酒店ニ赴キ飲食ヲ為スノ習慣ヲ得ル者多
シ故ニ今學校ニ於テ工丁等ノ女兒ヲ教ユルニ
ハ先ツ其家ヲ治メ家事ヲ處置スルノ方法ヲ以
テセザル可カラズ然レモ此割烹調理ノ方ハ獨
リ工丁ノ女兒ノミヲ限リ之ヲ教ユ可キニ非ズ

世上一般ノ婦女ト雖モ亦之ヲ知ラシムルト頗
ル急務ノ者トシ而ノ又學校ニ於テ最モ女兒ニ
必要ナルハ其通常一般ニ教ユベキ諸事ノ中ニ
就キ更ニ其女兒ヲ假リニ一箇ノ家産ヲ有スル
者ト看做シ一週間ニ若干ノ金ヲ以テ其家内ノ
費用ニ充ツ可キ額ト定メ女兒ヲシテ其定額ヲ
用ヒシムルニ最モ經濟ノ道ニ適シ家内ノ為メ
最モ資益アラシムルノ方法ヲ教ユ可シ

